

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	松本理容美容専門学校
設置者名	学校法人長野県理容美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生・専門課程	理容科		1794時間	160時間	
衛生・専門課程	美容科		1794時間	160時間	
衛生・専門課程	ビューティビジネス科		2010時間	160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.nrbg.ac.jp/activity.html 高等教育修学支援情報公開

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	松本理容美容専門学校
設置者名	学校法人長野県理容美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>http://www.nrbg.ac.jp/activity.html 高等教育修学支援情報公開</p>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	美容室 経営	H30.4.1 ~ R3. 3.31	事業計画・相談指導
非常勤	美容室 代表取締役	H30.4.1 ~ R3. 3.31	〃
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	松本理容美容専門学校
設置者名	学校法人 長野県理容美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)

○シラバスの作成過程（プロセス）

- ・ 教育課程編成委員会がシラバスに記載すべく項目について検討。
- ・ 教育課程編成委員会にて学校長を委員長とし、FD会議で「シラバス記載項目」を説明。
- ・ 教育課程編成委員会でシラバス一式を確認
- ・ 教育課程編成委員会での策定事項（授業科目の設置、授業方法の改善策）
- ・ 上記を経て、教育課程の編成に反映させ、教育方針に合わせて、年度のカリキュラム・シラバスに反映させる。
- ・ 教育課程編成委員会で委員長がシラバス作成の作成依頼を委員会の合意を経て
教務主任が全教員にシラバス作成を依頼。
- ・ 全教員が教務主任にシラバスを提出。
- ・ 教務主任がシラバスを点検し、校長に報告、記載事項に不備のあるシラバスの再提出を教務主任が依頼。
- ・ 該当職員が教務主任にシラバスを再提出。
- ・ 教育課程編成委員会がシラバスを再点検。

○ シラバス作成時期 1月7日～3月20日まで

○ シラバス公表時期 4月1日

授業計画
の公表方
法

<http://www.nrbg.ac.jp/activity.html>
高等教育修学支援情報公開

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

○成績の評価および履修認定に関する規定は次の通り

- ・長野県理容美容学園 学則 第7章卒業の認定及び卒業
- ・長野県理美容学園 基本情報(3)進級・卒業の要件等(基準3)に【学習成績評価】、【学期末試験】、【評価の表示】【欠席日数の基準】

【進級及び卒業認定】について記載

- ・松本理容美容専門学校 指導内規第1項第2項に【期末試験】【期末テストの結果、再試験、再々試験になる基準】第5項【進級・卒業見込み・卒業各認定】について記載

※以上のように、それぞれの規定等に記載されており、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法、基準により、厳格かつ適正に単位授与及び履修認定を実施している。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・本校の成績評価に関しては、担当教員は授業ごとにシラバスにて評価基準をあらかじめ、明示して客観的な成績評価に努めている。学生には学生便覧にて周知し、HP上でも公表している。

学修成果の評価と進級、卒業認定基準

【学習成績の評価】

- ①学習成績の評価は、学期末試験の成績を主に平素の学習態度及び出席状況を考慮して行う。
- ②評価は、当該学期中の成果に応じて学期毎に行う。
- ③各教科目の担当者は、当該年度で習得すべき学習内容の到達目標を予め申し合わせ、評価は当該教科目毎、学年別・学科別に行う事を原則とする。
- ④評価の基準は、美容科は国家試験の合格基準に準ずる。ビューティビジネス科は資格試験に準ずる。

【期末試験】

学期末試験は学校の年間計画に従い、年3回、学期毎に実施する

- ①再試験になる基準は美容科60点未満、ビューティビジネス科70点未満とする。
- ②期末試験不合格者は補習を受けてから再試験を受ける。
- ③1年次3学期再々試験不合格者は留年、2年次3学期再々試験不合格者は卒業延期とする。

【評価の表示】

- ① 学期末試験の成績は、100点法で評価する
- ② 成績通知表には5段階方式で評価する。

100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
5段階評定	5	4	3	2	1

- ③ 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出する。
- ④ 全科目の合計点の平均点での順位を公表する。

客観的な
指標の
算出方法
の公表方
法

<http://www.nrbg.ac.jp/activity.html>
高等教育修学支援情報公開

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○ 卒業の認定に関する基本方針（ディプロマ・ポリシー） 以下の能力を身に着け、諸定の授業時間を履修した学生について卒業の認定とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関連法規、関係省令に基づいた必要な知識及び技能を修得した者 2. 社会人としての教養と近代的な感覚を会得させ地域保健衛生の担い手となる力を有したものの <p>(卒業の要件) 卒業の認定は、履修簿・学習成績簿・出欠席の状況等の記録に基づいて認定会議を行い、校長がこれを認定する。 ※学科及び実技試験において理容科、美容科は国家試験合格基準に準ずる。 ビューティビジネス科は資格認定試験合格基準に準ずる</p> <p>(卒業認定手順)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認定基準を満たしているかを判断基準とし、諸条件を踏まえ適切に判断する。 期末試験、欠席日数の基準を満たしているかを判断基準とする。 2. ビューティビジネス科の卒業見込みに関しては1学期に認定会議を開き決定する。 3. 理容科、美容科の卒業見込みに関しては2学期に認定会議を開き決定する。 4. 進級・卒業に関しては、3学期末に職員による認定会議を開き決定する。 <p>・卒業の認定に関する方針や学生の習得単位を踏まえ、卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>http://www.nrbg.ac.jp/activity.html 高等教育修学支援情報公開</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	松本理容美容専門学校
設置者名	学校法人長野県理容美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.nrbg.ac.jp/activity.html 高等教育修学支援情報公開
収支計算書又は損益計算書	http://www.nrbg.ac.jp/activity.html 高等教育修学支援情報公開
財産目録	http://www.nrbg.ac.jp/activity.html 高等教育修学支援情報公開
事業報告書	http://www.nrbg.ac.jp/activity.html 高等教育修学支援情報公開
監事による監査報告（書）	http://www.nrbg.ac.jp/activity.html 高等教育修学支援情報公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2040 時間	690 時間	時間	1350 時間	時間	時間
			2040時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		12	0人	4人	10人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 当該年度で習得すべき学習内容の到達目標を予め申し合わせ、授業計画と授業カリキュラムの作成を行う。
成績評価の基準・方法
評価は教科毎学年別に行い、学期ごとに到達目標に対して評価する。国家試験の合格基準に準じて5段階評定で評価する。 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出する。 全科目の平均点での順位を公表する。

卒業・進級の認定			
(概要) 学則、学校内規で3学期期末成績、欠席・遅刻・早退についての基準、特別指導についての基準を満たしていること			
学修支援等			
(概要) 個別相談、個別指導の対応。 個別担任指導。 保護者相談、保護者面談。 スクールカウンセラー			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容室、理容業界。			
(就職指導内容) 面接指導、サロン実習指導、実技試験指導、情報収集のやり方等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 令和元年度理容師国家試験合格率 83.3%			
(備考)			
中途退学の現状			
令和元年度当初在学者数	令和元年度の途中における退学者の数	中退率	
12人	人	%	
(中途退学の主な理由)			
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、個別指導の対応。個別担任指導。保護者相談、面談。 スクールカウンセラーの設置			

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	衛生専門課程	美容科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 時間	690 時間	時間	1350 時間	時間	時間
			2040時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	154人	0人	8人	10人	18人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要） 当該年度で習得すべき学習内容の到達目標を予め申し合わせ、授業計画と授業カリキュラムの作成を行う。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>評価は教科毎学年別に行い、学期ごとに到達目標に対して評価する。国家試験の合格基準に準じて5段階評定で評価する。 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出する。 全科目の平均点での順位を公表する。</p>			
卒業・進級の認定			
<p>（概要） 学則、学校内規で3学期期末成績、欠席・遅刻・早退についての基準、特別指導についての基準を満たしていること</p>			
学修支援等			
<p>（概要） 個別相談、個別指導の対応。 個別担任指導。 保護者相談、保護者面談。 スクールカウンセラー</p>			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
63人 (100%)	0人 (%)	61人 (96.8%)	2人 (3.2%)
<p>（主な就職、業界等） 美容室、アイケアサロン、エステティックサロン、美容業界。</p>			
<p>（就職指導内容） 面接指導、サロン実習指導、実技試験指導、情報収集のやり方等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 令和元年度美容師国家試験合格率93.7%</p>			
（備考）			
中途退学の現状			
令和元年度当初在学者数	令和元年度の途中における退学者の数	中退率	
193人	7人	3.6%	
<p>（中途退学の主な理由） 進路変更</p>			
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、個別指導の対応。個別担任指導。保護者相談、面談。 スクールカウンセラーの設置</p>			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ビューティビジネス 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 時間	956 時間	時間	108 4時間	時間	時間
			2040単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		15人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 当該年度で習得すべき学習内容の到達目標を予め申し合わせ、授業計画と授業カリキュラムの作成を行う。			
成績評価の基準・方法			
評価は教科毎学年別に行い、学期ごとに到達目標に対して評価する。エステティック認定試験の合格基準に準じて5段階評定で評価する。 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出する。 全科目の平均点での順位を公表する。			
卒業・進級の認定			
（概要） 学則、学校内規で1学期期末成績、欠席・遅刻・早退についての基準、特別指導についての基準を満たしていること			
卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (%)	11人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） エステティックサロン、美容業界。			
（就職指導内容） 面接指導、サロン実習指導、実技試験指導、情報収集のやり方等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 令和元年度エステティック協会及びエステティック業協会認定上級エステティシャン どちらも合格率100%			
（備考）			
中途退学の現状			

令和元年度当初在学者数	令和元年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、個別指導の対応。個別担任指導。保護者相談、面談。 スクールカウンセラーの設置		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考
理容科	80,000 円	456,000 円	463,000 円	施設設備充実費、 実習費、施設設備運営費
美容科	80,000 円	456,000 円	463,000 円	施設設備充実費、 実習費、施設設備運営費
ビューティビジネス科	60,000 円	420,000 円	596,000 円	施設設備充実費、 実習費、施設設備運営費

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.nrbg.ac.jp/disclosure.html 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」学校情報公開		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
「学校評価実施規程に基づく」		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的 … 学校が提出した自己評価報告書、参照資料、意見交換の実施に基づき評価を行い、評価書原案を作成する。 ・ 委員会選出基準 … 次の区分から校長が委嘱 → 関連業界等関係者 (評価対象校の教育に関連する分野の有識者) ・ 委員会構成 … 関連業界等関係者 2 名、 ・ 委員会評価業務内容 … ① 書面調査・確認 ② ヒアリング・意見交換 ③ 施設確認 ④ 評価案の作成 ・ 評価項目 … 学修成果、教育活動、学生支援等の評価を行う ・ 活用方法 … 関係者評価委員会からの提案を踏まえ、各評価項目について改善することで、学校の質の向上を図る。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別

美容室経営	H29年4月1日～R2年 3月31日	専門分野に関する関係者
美容商マネージャー	H29年4月1日～R2年 3月31日	専門分野に関する関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://www.nrbg.ac.jp/disclosure.html 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」学校情報公開		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.nrbg.ac.jp
--

